

地理歴史科・公民科 学習指導案

学校名	沖縄県立北中城高校	授業者名	
科目名	公共	学年・人数	1年1組・39名
実施日時	令和5年11月8日(水)6校時	実施場所	社会科教室
教科書・出版社	『新公共』(第一学習社)	資料集・出版社	

1. 単元の位置づけ

学習指導要領に おける位置づけ	大項目	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち
	中項目	第2章 政治的な主体となる私たち
単元名	主題5～7 「国際社会の動向と平和の追究」	
FQ(単元を貫く問い)	国際社会の中で、日本はどのような役割を果たし、何に取り組んでいく必要があるだろうか。	
↓ 「未来課題」	30歳の自分が、国連職員となって取り組んでいることを母校の中学生に紹介しよう!	

※「未来課題」とは「パフォーマンス課題」のアレンジ版で、未来の「役割」を想定し課題に取り組むもの

2. 単元の目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
国際社会の動向と平和の追究などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解すること。現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けること。	国際社会の動向と平和の追究について、幸福、正義、公正などに着目し自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決を受けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現すること。	国際社会の動向と平和の追究について、よりよい社会の実現を視野に他者と協働しながら自分にできることを主体的に追究しようとする態度や各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3. 単元の評価規準(本単元におけるB評価の生徒の姿)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
国際社会の動向と平和の追究などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。	国際社会の動向と平和の追究について、幸福、正義、公正などに着目し自立した主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決を受けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	国際社会の動向と平和の追究について、よりよい社会の実現を視野に他者と協働しながら自分にできることを主体的に追究しようとする態度や各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。

4. 単元の主な評価方法(●…学習改善につなげる評価、○…評定に用いる評価⇒そのうち◎…ペーパーテストで見取る評価)

知	二学期期末考査(◎)
思	授業中の協働活動の取組等(●)、MQに対する単元リフレクションシート等への記入内容(○)
態	FQ(未来課題)に対する単元リフレクションシートへの記入内容(○)

5. 学校の育成したい資質・能力との関連(自校の目指す資質・能力を記載し、本単元・学習と関連するものに○をつける)

自己肯定力	傾聴力	○	思考力	発信力	○	協働力
-------	-----	---	-----	-----	---	-----

6. 単元について（「主体的・対話的で深い学び」へとなるために）

①主体的になるために	国連職員という未来の役割を与えることで、FQを自分の将来と結びつけながら考察・構想させる。
②対話的になるために	協働学習において、各種図画資料等にフォトランゲージを取り入れたり、クイズやランキングといったアクティビティを仕掛けたりすることで協働して課題解決させる。
③深い学びになるために	単元のOPPシート（「平和力アップシート」と命名）を用いることで、他者の意見を踏まえて自分の考えを深め新たな価値を構成しながら思考を積み重ねさせる。

7. 単元の指導と評価の計画（本時7/9）

	学習項目	〔MQ〕 * =ねらい（取り上げる人物）	評価の観点		
			知	思	態
1	単元オリエンテーション	〔MQ〕 よりよい社会の形成に参画する日本（私）の役割とは何か？ *本単元（主題5～7）を通して追究する問い（FQ）と「未来課題」を立て、本単元学習への見通しを持つ。 （国際機関勤務のSNさん 中城村出身）			●
2	国家と国際法、国境と領土問題	〔MQ〕 領土問題は平和的に解決できるだろうか？ *領土問題を通して国際社会の仕組みや国際法、国家主権の重要性を理解する。	◎		
3	国際連合の役割と課題	〔MQ〕 国連の最大目標は何か？ *国際社会の平和と安全維持のため国連が行っている取り組みを理解し、課題の解決手段について考察する。 （国際機関勤務のSAさん 那覇市出身）	◎	○	
4	平和主義と安全保障	〔MQ〕 平和主義と世界平和の貢献をどう実現するか？ *平和主義を掲げる我が国の防衛政策や日本の平和主義、安全保障政策について理解する。	◎		
5	核兵器の廃絶と国際平和	〔MQ〕 核兵器の廃絶に向けて、大切なことは何か？ *核軍縮の国際的な取り組みについて理解し、国際平和と軍縮に向けて日本が果たすべき役割について考察する。 （高校生NKさん 福岡県出身）	◎	○	
6	今日の国際社会	〔MQ〕 平和な社会にするために何が一番重要か？ *WWII後の一体化と分断化という複雑な特徴を持つ今日の国際社会を踏まえ、国際協調（＝平和）のために何が重要か考察する。		○	
7	人種・民族問題と地域紛争	〔MQ〕 「難民問題」に対して日本が取り組むことは何か？ *「難民」の現状を理解し、日本が取り組むことを考察する。 （元国連難民高等弁務官 緒方貞子さん）		○	
8	国際社会における日本の役割	〔MQ = FQ〕 国際社会の中で日本はどのような役割を果たし、何に取り組んでいく必要があるか *国際社会における日本の役割について、国連職員の立場に立って考察する。			●
9	単元のまとめ（未来課題）	〔FQ〕 30歳の自分が国連職員として取り組んでいることを母校の中学生に紹介しよう。 *SDGs 17の解決に向けて、国連職員としてどの機関で何に取り組むか、その際、何が大切かを母校の中学生にプレゼンすることができる。			○
10	講演会（オンライン）	*国際機関勤務のTTさん（沖縄県出身）による講演を通して当事者意識を高める。			

8. 本時の流れ (7/全9時間) I = 導入 5分、II = 展開 37分、III = まとめ 8分

時	学習内容・生徒の学習活動	指導上の留意点等	評
I	5 1. 本時のMQ設定 ①ブルーライトアップの写真から「世界〇〇の日」を連想する。 ②MQ「難民問題に対して日本が取り組むべきことは何か」を共有する。	提示する写真の順番に留意する。	
II	15 2. 「難民」クイズ (用語編・選択編) ①難民に関する6つの用語について理解する。(個人→全体) ②難民の背景や現状に関する問いについて、選択肢から選びながら理解する。(個人→全体) ③グラフから難民認定者数の各国の実態を比較する。 ④難民認定手続きの流れについてフローチャートで理解する。	基礎知識を踏まえるだけでなく、次の3の学習活動へつなぐことに留意する。	
	10 3. 難民受け入れの是非 ①日本の難民申請の実態についてVTRを視聴する。 ②「難民条約」の前文と①を照らし合わせる。 ③難民申請者と企業をつなぐNPOについてVTRを視聴する。	難民条約の提示を通して①と③を視聴する視点を高める。	
	12 4. 難民問題に対して日本が取り組むべきこと ①ワークシートに例示したA～Hを読みバタフライチャートでランキングする。(個人) ②上記①を基に、グループで台紙とカードを用いて考察する。	その他の案としてIの記入を促す。	
III	8 5. 「平和力アップシート」 ①上記4の①②を踏まえ、改めて個人の考えを再考察し、最も共感できる考えを1つ選び○をつけ、その理由を「R80」で記入する。 ②国際社会への貢献度(%)を記入する。	時間があればペアで共有(回し読み等)する。	思 ○

9. 本時(第7時)の評価基準

	【思考・判断・表現】
A	難民問題について原因や現状を踏まえ、どのような政策が望ましいか協働しながら多面的・多角的に考察し新たな価値を見出している。
B	難民問題について原因や現状を踏まえ、どのような政策が望ましいか協働しながら多面的・多角的に考察している。
C	(B評価以下)

〔本時の主な参考 Web・書籍等〕

- ① UNHCR 日本 (<https://www.unhcr.org/jp/>)
- ② 法務省出入国在留管理庁 (https://www.moj.go.jp/isa/applications/procedures/nanmin_00001.html)
- ③ 認定NPO法人 難民支援機構 (<https://www.refugee.or.jp/support/volunteer/>)
- ④ TBS 「NEWS23」 2019年12月5日 (<https://www.youtube.com/watch?v=zKb42seJR7U>)
- ⑤ テレビ東京 「BIZ」 2023年6月14日 (<https://www.youtube.com/watch?v=FLmRssdFjDI>)
- ⑥ テレビ朝日 「報道ステーション」 2023年6月20日
(https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000304161.html)
- ⑦ 開発教育協会 2019年『開発教育 基本アクティビティ集2 難民』